

- 問1 聖徳太子（厩戸皇子）が小野妹子を隋に派遣した際、その外交方針や目的として最も適切な記述はどれですか。（2026年 青森県公立入試 類似）
1. 中大兄皇子が進める大化の改新を成功させるため、隋から大規模な軍事支援を取り付けようとした。
 2. 天武天皇が定めた律令制度を中国に輸出することで、日本の国際的地位を高めようとした。
 3. 中国の皇帝に対して対等な立場での外交を求め、大陸の進んだ政治制度や文化を学び取ろうとした。
 4. 中国の皇帝から「倭王」としての称号を得ることで、国内の有力豪族を支配する正当性を確立しようとした。
- 問2 飛鳥時代に建立された法隆寺とその文化について、当時の政治や社会背景を説明した文として最も適切なものを次のうちから選びなさい。（2021年 大阪府公立入試 類似）
1. 最澄が唐から持ち帰った新しい仏教を広めるため、比叡山に修行の場として建立した。
 2. 蘇我氏が天皇をしのぐ権力を示すため、日本で最初の大寺院として大坂の地に建立した。
 3. 聖徳太子が仏教の力で国を治めようと考え、大陸の技術を取り入れて建立した。
 4. 聖武天皇が国内の疫病や政情不安を鎮めるため、全国に国分寺を建てる一環として建立した。
- 問3 飛鳥時代の文化の特徴を記した資料において、その特色は「国際色豊かである」と説明されます。このように評される理由として、当時の寺院建築や仏像に見られる具体的な特徴を述べたものとして正しいものはどれですか。（2024年 和歌山県公立入試 類似）
1. 遣唐使によって唐の最新の文化が都である平城京に直接もたらされ、国際的な正倉院宝物などが数多く作られたため。
 2. 遣唐使が廃止されたことで、それまで伝わっていた大陸の文化が日本の風土に合わせて消化され、独自の「かな文字」などが生まれたため。
 3. 禅宗の影響を受けた武士たちが、中国の宋や元の文化を取り入れ、水墨画や茶の湯などの簡素な美意識を確立したため。
 4. 中国の南北朝時代の様式だけでなく、インドや西アジア、さらには古代ギリシャに起源を持つ建築様式の影響が、寺院の柱などに見られるため。
- 問4 飛鳥時代から奈良時代へと至る時期に起きた次の4つの出来事について、時期の古いものから順に正しく並んでいるものはどれか。（2022年 千葉県公立入試 類似）
1. 白村江の戦いでの敗北 → 壬申の乱 → 聖徳太子による法隆寺の建立 → 聖武天皇による国分寺建立の詔
 2. 中大兄皇子らによる蘇我氏の打倒 → 聖徳太子による法隆寺の建立 → 壬申の乱 → 白村江の戦いでの敗北
 3. 聖徳太子による法隆寺の建立 → 中大兄皇子らによる蘇我氏の打倒 → 白村江の戦いでの敗北 → 壬申の乱
 4. 聖徳太子による法隆寺の建立 → 白村江の戦いでの敗北 → 壬申の乱 → 中大兄皇子らによる蘇我氏の打倒
- 問5 7世紀の朝鮮半島および東アジアの情勢において、日本が百済を支援して白村江の戦いに参戦した経緯を説明したものとして、正しいものはどれか。（2021年 三重県公立入試 類似）
1. 新羅が唐を裏切って日本に助けを求めたため、日本は百済の遺臣と共に新羅を支援した
 2. 隋が百済を圧迫したため、聖徳太子は小野妹子を派遣して百済への軍事的支援を約束した
 3. 高句麗が唐と結んで南下したため、日本は百済と新羅の双方を守るために大規模な軍を派遣した
 4. 唐と新羅が同盟を結んで百済を滅ぼしたため、日本は旧来の同盟関係に基づき百済の復興を支援した
- 問6 古代の日本において、唐の制度を参考に「律令」が制定された主な目的として、最も適切な説明はどれですか。当時の地方行政の状況を伝える多胡碑などの記録を踏まえて考えなさい。（2016年 群馬県公立入試 類似）
1. 仏教の教えを広めることで、人々の不満を抑えて社会の安定を図るため
 2. 武士の勢力を抑えるために、有力な貴族に地方の土地を自由に管理させるため
 3. 天皇を頂点とし、法に基づいた行政区画の整備を通じて中央集権的な統治を行うため
 4. 外国との貿易を促進するために、港を中心とした新しい都市を建設するため
- 問7 飛鳥時代、仏教の受容に積極的であった蘇我馬子が、大陸から招いた技師の指導を受けて建立した、日本で最初の本格的な寺院を何といいますか。（2025年 東京都公立入試 類似）
1. 四天王寺
 2. 東大寺
 3. 法隆寺
 4. 飛鳥寺
- 問8 大宝律令のもとでの人々の負担について記した資料によると、口分田を与えられた農民には、収穫した稲の約3%を納める「租」のほかに、布や特産品を納める負担や、九州の北海岸を警備する「防人」などの兵役が課されていました。このような制度が整えられた主な目的として、最も適切なものはどれか。（2020年 広島県公立入試 類似）
1. 有力な農民に土地の私有を認めることで、地方の開墾を促進し、農業生産力を高めるため。
 2. 地主から土地を買い上げて小作人に安く売り渡すことで、農村の貧富の差を解消するため。
 3. 公地公民の原則に基づき、国家が土地と人民を直接支配して税収や軍事力を確保するため。
 4. 土地を所有する権利を証明する「地券」を発行し、税制を金納に統一して財政を安定させるため。
- 問9 舒明天皇や皇極天皇の流れを汲む天皇家において、中大兄皇子（天智天皇）と中臣鎌足が大化の改新を進めた後の時代に起きた「壬申の乱」の説明として正しいものはどれか。（2016年 千葉県公立入試 類似）
1. 天智天皇の弟である大海人皇子が、天皇の息子である大友皇子を倒して実権を握った争い。
 2. 後白河法皇の後継者問題をめぐり、源氏と平氏が対立して京都で発生した大規模な戦乱。
 3. 蘇我氏の独裁的な政治に不満を持った皇族たちが、宮中で蘇我入鹿を暗殺した事件。
 4. 唐・新羅の連合軍に敗北したことをきっかけに、国内の防衛体制を整えるために起きた争い。
- 問10 607年に派遣された使節において、当時の中国の皇帝に「日出づる処の天子、書を日没する処の天子に致す…」で始まる国書を届けたとされる、代表的な人物は誰が選択してください。（2017年 大分県公立入試 類似）
1. 小野妹子
 2. 中臣鎌足
 3. 阿倍仲麻呂
 4. 鑑真
- 問11 7世紀初め、推古天皇の摂政であった聖徳太子（厩戸王）は、中国の高度な制度や文化を学ぶために小野妹子らを派遣しました。このとき、小野妹子らが派遣された、南北に分かれていた中国を約300年ぶりに統一した王朝の名前として正しいものを選びなさい。（2021年 三重県公立入試 類似）
1. 隋
 2. 秦
 3. 漢
 4. 唐
- 問12 7世紀後半から8世紀初頭にかけて、日本が律令国家としての仕組みを整えていく過程で起きた出来事として、正しい記述はどれですか。（2025年 栃木県公立入試 類似）
1. 地方の武士を統制し土地の管理を行うため、全国の国ごとに守護や地頭が設置された。
 2. 女王が中国の王朝に使いを送り、皇帝から「親魏倭王」の称号と金印を授けられた。
 3. 大陸の政治混乱を受けて遣唐使の派遣を停止し、日本独自の国風文化が発展し始めた。
 4. 中国の都の仕組みを取り入れ、大規模な官庁街を備えた日本初の本格的な都が造営された。